

令和7年度 長岡高校スーパーサイエンスハイスクール

名 称	SSRⅡキャリアデザインツアー
期 日	令和7年10月2日（木）～3日（金）
会 場	お茶の水女子大学・筑波大学・東京外国語大学・早稲田大学 外務省・最高検察庁・JTＢ・数研出版東京本社・特許庁
対 象	普通科2年生（文系）
目 的	大学や官公庁等の専門機関での模擬講義や施設見学を通じて、大学で学ぶ意義や学問の社会的役割に対する認識を深め、高校生活後半を一層充実したものにする ことを目標とする。
内 容	・大学での講義体験や学内見学 ・本校卒業生との懇談会 ・官公庁等の専門機関訪問



筑波大学では、人文学類教授島田雅晴先生から『ヒトの脳内の言語能力の解明を目的とした漢字をめぐる言語研究』というテーマで模擬講義を行っていただきました。



卒業生を囲んでの座談会では、一橋大学をはじめとした首都圏にある大学に在学する先輩方から、受験での経験や大学生活についての話を聴きました。



外務省では、全般的な業務内容や外務省で働くにあたって期待される人物像に関して説明していただきました。



数研出版東京本社では各部署の方々から、本ができるまでの過程と出来上がった本の販売等に関して説明していただきました。

アンケート評価	◆キャリアデザインツアーを通して ①大学や学問に対する興味・関心が高まった 高まった（77.1％） やや高まった（16.5％） その他（6.4％） ②職業に対する興味・関心が高まった 高まった（76.1％） やや高まった（16.5％） その他（7.4％） ③学習への意欲が高まった 高まった（77.1％） やや高まった（15.6％） その他（7.3％）
感想など	・ 卒業生との座談会や官公庁訪問では、普段は聞けない話をたくさん聞くことができとても興味関心が湧いた。卒業生の話を聞いて、自分の勉強スタイルを見直してみようと思った。また、最高検察庁訪問を通して、心理学志望だったが法学にも興味をもった。両方を活かせる家庭裁判所事務官など、職業の幅も広がった。 ・ 自分の志望校である東京外国語大学で入試制度について聞いたり授業を受けたり、先輩方の話を聞いたりして、自分の進路についての気持ちが一層引き締まった。また、外務省訪問を通して今までより国際関係について興味が深まり、進路を考える上での参考になった。 ・ 大学も企業も行きたい場所であり、説明を聞いて知りたいことや志望校選びのポイントを見つけることができた。先輩方との座談会では、今の時期に合わせた話や、部活をしていた時の話を聞くことができてとても参考になった。 ・ どの大学や企業も、学びや発展に向け、一生懸命に真摯に活動を行っていて好印象を持ったと同時に、自分もこういう風になりたいと思えた。また、先輩方もコツコツと計画的な努力をしており、高い壁を壊そうとする強い気持ちがあって自分も頑張らなくてはと思った。 ・ 企業訪問では、社会貢献のための取り組みだけではなく、社員の働きやすい環境づくりなど様々な取り組みをしていると知り、自分の将来の姿をイメージする機会になった。また大学訪問では、実際に見たり聞いたりすることで分かる大学の特徴や雰囲気があり、自分がどのようなことを学びたいのか考え直すきっかけになった。